

定時制便り

『学びは主体的な行為』

校長 松田 圭右



お解教主生期
りと育の徒の令
まご活皆、終和
す協動様保了五
こ力にに護に年
とを対は者あ度
、頂し本、た、
心いご校雇り一
よて理の用、学

り感謝申し上げます。

昨年までのコロナウイルス感染も落ち着きを見せ、感染症法の分類二類から五類への移行や、学校においてもマスクの着用が不要となるなど、従来の学校生活に戻りつつあることを大変うれしく思います。

本校は今年度三名の新入生を迎えスタート致しました。一学期は四月から新入生オリエンテーション、対面式、生徒総会、たそがれ遠足は悪天候のためレクリエーションとなりましたが、映画鑑賞や交通安全・防犯の講話等の学校行事についても無事に終了することができました。

さて、現在エネルギーの軸足が化石燃料から電気などに変わり、人工知能の見覚ましい発達や在宅ワークの普及など、社会の構造や、働き方の変化など、社会の構造が大きく変わろうとしています。社会の変化

『令和五年度入学式』

一 学年学級級担任

も、今年度が始まって五月以降は影響を受けることなく全ての行事が行われ、通常の学校生活を送れていると思います。

昨年度は数件の生徒指導事故がありました。が、今年度に入って一学期は何事もなく係としてはホッとしています。これは生徒の皆さんが落ち着いた学校生活を送っているからだと思っています。遅刻や欠席も昨年度に比べて件数が大幅に減りました。二学期以降も継続してもらえればと思います。

夏休みは自由な時間が増え昼夜逆転の生活をしてしまいがちですが、規則正しい生活を送るように心掛け、良い夏休みになるように以下のことに注意して過ごして下さい。

一つ目は、事件・事故に巻き込まれないように行動しましょう。前述の通りコロナの影響を受けることがなくなったので、観光都市である小樽は人の往来がコロナ以前に戻っていると思います。昼夜問わず十分に注意して下さい。二つ目は、スマホの使い方・ネットトラブルについて。先にもあります。が、夜通しスマホを使用して昼夜逆転の生活にならないようにしましょう。三つ目は、空いた時間を有効に使いましょう。

夏休みの間は登校がなくなるので、その分の時間を有意義に使いましょう。最後に、休み期間中に何か悩み事ができたら誰かに相談して下さい。匿名でも相談できる各関係機関がありますので、そちらを利用することもできます。一人で抱え込まないようにしましょう。

二学期の始業式では、生徒の皆さんと元気に会えることを願っています。



令和5年7月24日発行
小樽未來創造高等学校
定時制課程
小樽市最上1丁目29の1
電話 0134(23)6105
メールアドレス
miraisouzou-t0@hokkaido-c.ed.jp

に伴い生徒の皆さんの学習活動についても「主體的・対話的な深い学び」を通して変化の激しい社会で、それぞれの目標に向かっていきながら求めたためのスキルを身に付けてゆくことが求められています。生徒の皆さんは本校のカリキュラムを通してそれらを身に付けてゆくわけですが、学びの変化ばかりでなく、夜間定時制高校という環境は「学ぶこと」において決して優しい環境ではありません。

夜間定時制高校の生徒は、全日制の生徒が学ぶことと同じ時間に働き、休んでいる時間に学ぶことが要求されます。更に「休み帯いな」、「遊びたいな」など、様々な誘惑や葛藤も多い環境であると言えます。そういった環境で勉学に励んでいる皆さんは本当に立派です。

「学ぶ」という行為はもちろん主體的に行いであり、自らの意思が無ければ成り立たない行為です。そしてその努力を継続するためには目標が大切になります。

本校の既卒者生（三卒制）の皆さんは、資格取得や基礎資格の取得といった目標を持つて学んでいる方々であり、目標に向かっての取組や、社会人になってからも生涯を通して学ぶことの大切さを体現する良き見本となってくれています。

各々の生徒の皆さんの目標は、それぞれ違うことと思いますが、皆さんが目標をしっかりと持ち、目標に向かって継続した学びを確立していくことに期待しております。

『電気コースでの学び』

電気コース長

令和五年度の入学式が、四月十日曜日に四生一名、三卒業生二名、計三名の新入生を迎え、行われました。当日は全員出席することができ、学級担任の誘導でご来賓の方々や保護者の方々、教職員らの拍手に迎えられ入場しました。

学校長による入学許可に始まり、新入生の宣誓、来賓による挨拶など滞りなく無事に終了しました。昨年よりは少人数でしたが、その分穏やかで落ち着いた式典となり、入学生や参列者の笑顔が印象的でした。



みなさんの家にあるコンセントの電気はどこからやってくるのかお分かりでしょうか。

電気は発電所で発電されます。発電所ではさまざまな方法で電気を発生させます。例えば、石炭や天然ガス、原子力、風力などのエネルギー源を利用して発電機を回して電気を発生させます。また太陽光でも発電が出来ます。

小樽市朝里川温泉にある朝里ダムには管理用水力発電所(四五〇kW)があります。コンクリートでできた巨大な重力ダムです。また、北海道小樽市銭函五丁目には、

『二学期に向けて』

総務部長

も良い生活となり、今まで規制されていた行事も解禁、毎日の学校生活や行事に背中を押され過ぎていたように思われます。
 この一学期は、入学式に始まり様々な行事等が行われました。生徒の頑張りはもちろん保護者の皆様のご理解、ご協力によつて無事終えることができました。生徒たちは、本校の学校生活に十分に慣れ楽しんでいる反面、色々な事からのストレスにより体調を崩す者もいます。高校生活を有意義に過ごせるよう、今後とも家庭の協力をよろしくお願ひします。
 その知識によって正解を見つけ出す。正解の積み重ねが自信につながります。また、知識は人の発想、思考を豊富にしてくれ、また、世の中には簡単に正解を出せないことも多くあります。しかし、そんなときでも様々な知識を持つていけば、それらを総動員して何が正解かを自分なりに導き出せるのです。判断するため情報が多ければ多いほどいい。だから人は勉強し続けなければいけません。
 この夏休み期間中は、一学期を振り返り自らの姿勢を見直すとともに、一年間の中の的な時期である二学期に向けて実りある生活を過ごしてください。

『生徒指導係から』

生徒指導主事

液化天然ガスコンテナ船が、新港に到着する。この膨張の力を「ガスタービン」を利用して「ガスタービン」を回します。さらに、熱を利用して高温・高圧の蒸気を作り、「蒸気タービン」を回します。効率が高いため、発電所（合計一七〇・八二kW）です。さらに、同じく小樽市銭函五丁目には石狩湾新港風力発電所（六六〇〇kW≒三三〇〇kW×二基）があります。



七月十九日水曜日、令和五年度の薬物乱用防止教室が実施されました。この日は、保健室の先生が「日本の社会福祉は、強

『薬物乱用防止教室』

総務部



点について、また、事故に逢わないための注意
危険性、特に誹謗中傷について、加害者や
害者になりたくないための留意点について、分

今年度の冬、福祉についての研修を受けま
した。先生の先生が「日本の社会福祉は、強

『保健室から』

養護教諭



たなければならぬと、しっかりと心にと
めて防止教室を終えました。

今年度は、みなさんと話を増
やしたいと考え、各学期毎に教育相談週間

『今年度の教育相談週間』

教育相談員



くさんあり
ます。研修内
で、社会保
障の重要性

今年度最初の行
事として、新
生オリエンテ



『新入生オリエンテーション・生徒総会』

生徒会顧問

下げる必要があり
ます。そのた
め、変電所

六月二十三日
金曜日に「た
そがれ遠足」



『たそがれ遠足』

総務部

会が行われまし
た。三年生か
ら選出された

七月十八日火曜
日、本校から
交通安全・防

『交通安全・防犯講話』

総務部

七月七日金曜
日、今年度小
樽映画鑑賞会



『映画鑑賞会』

総務部

遠慮せず、気軽に声をかけてください。一人では良い考えが見つからなくても、一緒に考えたり話をしてみると、妙案がうかんだり目標が見えるかもしれません。

【教育相談担当】

養護教諭
牧口 沙紀
建築コース教諭
小幡 圭二



『定時制の給食』

給食委員会

定時制には、栄養バランスのとれた美味しい給食が毎日あります。調理員の方々の日々の工夫によって、値上げすることなく一食二〇〇円で食べることができます。

今年度は、PTA総会が通常どおりに行われ、PTAの方々にも給食を試食していただくことができました。評判は上々、みなさん「おいしい！」と喜んでくれました。今回ご紹介するのは、人気メニューの「チキンカレー」です。付け合わせの「春雨サラダ」との相性もびつたりです。

六月に実施した給食についてのアンケート調査の結果をお知らせします。まず、メニューについて。人気メニュー一位は、全校生徒の六割以上の支持を受けて「カレー」でした。二位が「うどん」。あつたらいいと思うメニューは、焼きそば、お好み焼き、海鮮丼、ブリン、デザートなど。苦手なもの、野菜炒め、納豆、とろろ昆布などでした。この結果は、今後の給食の参考とし

たいと思います。
また、量や盛り
付けなどに希望
があれば、調理
員さんに一声か
けてください。
できる限り対応
してくれます。
続いて給食に
ついて。約六割
近くが給食を夕
食とし、帰宅後
は食べていない
ことが分かりま
した。定時制の
生活では帰宅が夜になるため、遅い時間の
夕食は体に負担がかかります。健康面を考え
て給食を食べていることが分かります。ま
とるため」と理解しているみなさんも約六
割近くいました。
定時制の給食は、生活リズムを整える上
でも大切な役割を担っていることが分か
りました。



令和五年度 PTA 総会報告

令和五年度のPTA総会が、五月二十六日金曜日に行われました。コロナ禍で紙面決議が続いていましたが、今年は四年ぶりに通常開催となりました。

近藤会長、松田校長からの挨拶の後、令和四年度の事業報告、決算報告があり原案どおり承認されました。続いて、令和五年度の事業計画案、予算案、PTA役員案が示され、原案どおり承認されました。

PTA活動は、様々な状況の中で本校に

学ぶ生徒たちを、多方面から支えています。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、入学者の減少が続く中、本校のPTA活動を進める上で多くの課題があります。会員の皆様のご協力のもと、これから子どもたちの学びを支えたいと思います。今度とも、会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

《定時制webページのご案内》

定時制の緊急連絡をはじめ、
学校行事や生徒の様子などを
掲載しています。また、保護者
への案内も掲載しています。
下記のURLにてご覧下さい。

<http://www.miraisouzou.hokkaido-c.ed.jp>



《編集後記》

今年の五月からコロナ感染症の扱いが変わり、学校生活の様々な活動もコロナ前に戻ってきました。

今年の入学生は三名（4卒一名3卒二名）、少人数の定時制だからこそ、全校生徒が仲良くする機会が多いのです。新入生と在校生が仲良く話をしたり協力して学校行事に取り組んでいる姿を見て嬉しくなります。

夏休みを有意義に過ごし、二学期も元氣な笑顔で会えることを楽しみにしています。

そして、二学期もそれぞれが目標を持って一歩ずつ、でも着実に成長してくれることを願っています。